

地域とコスモシアターを結ぶ季刊誌

{ポーリエ} POUR LIER

2022 秋号 VOL. 17



特集

大切な人と 心温まる時間を
ミュージカル「クリスマス・キャロル」

特集

和楽器の新たな可能性
和楽器ユニット「天樂」

「POUR LIER」は、フランス語で“結ぶ”という意味。新しいコスモシアターがもっとも大切に思う、地域との結びつきをお届けします。

大切な人と心温まる時間を

ミュージカル「クリスマス・キャロル」



世界中で愛されているチャールズ・ディケンズの小説「クリスマス・キャロル」。このクリスマス小説の傑作を原作にした不思議で心温まるミュージカルファンタジーが11月23日（水・祝）、コスモシアターに。今こそ伝えたい、人と人との繋がり大切さ、いつもだれかがそばにいる奇跡。最高のキャストでお贈りする王道ミュージカルで、最高のひとときを過ごしませんか。スクルージ役の吉田栄作さんと、3人の女（イザベラ・イライザ・イボンヌ）を演じる早見優さんに、見どころなどを聞きました。

—— ミュージカル「クリスマス・キャロル」の見どころは

吉田栄作 芝居どころはもちろん、ミュージカルならではの華やかな唄やダンスパフォーマンス、そしてやはりスクルージの思いが変化していく場面に、人の心はう

たれるのだと思います。

早見優 生きていくために一番大切にしなければならないことを教えてくれる物語です。

—— 舞台に立つ醍醐味とは

吉田栄作 舞台に立つ度に思う

のは「芝居の筋肉を鍛えられる場所だな」ということ。スタッフ、キャストと共に稽古の日々を重ね、「One for all, All for one」の精神でしっかりとしたフォーメーションを創り上げる。そして本番にお客さまが入り同じ時間、同じ感情を共有することで会場全体が

一体化して作品が完成する。そんな素晴らしい空間である舞台をとっても愛おしく思います。

早見優 22歳の時に「オズの魔法使い」のドロシー役で初めて主演をつとめさせていただいた時からミュージカルが大好きです！今回は3役の女性を演じるという大役ですが、見に来て下さるお客さまが楽しんでいただけるよう、精いっぱいがんばります！

——役作りについて

吉田栄作 人は必死に何かを追いかける時、盲目になってしまうこともあります。そして過去の悲しみや傷みを忘れるために別の人

格を演じ生きることもあるでしょう。スクルージのこれまでの人生にもいろいろなことがあったのだと思います。前半はそんなセンチティブな部分を微塵も感じさせない、この上なく頑固で憎たらしい“くそじい”を演じたいと思っています。



早見優 台本と向き合い、今回いただいた作品に愛を込めて挑みます！クリスマスの奇跡がお客さまの心を温かさで愛でいっぱいにするようがんばります。



——貝塚市みなさんにメッセージを

吉田栄作 古今東西、老若男女が楽しめる作品です。僕自身、子供の頃からずっと心に残っている物語でした。「あなたにとって本当に大切なものは何ですか？」。舞台上からみなさんにそんなメッセージをおくらせていただきます。そして舞台を見終わった時、きっとみなさんの心には穏やかで温かい、クリスマスの灯が灯っていることでしょう。劇場でお待ちしております。

早見優 夢と希望に溢れた作品です。ぜひご観劇にいらして下さい！

撮影：園田昭彦

市民の声



普段は、横浜にぎわい座で、お二人の落語を観ておりますが、たまさんのホームグラウンドでははじけまくった公演を期待しておじゃましました。（7月2日「笑福亭たま独演会」来場、60代）

連載 日本の●心

人形浄瑠璃文楽

舞台下駄

人形浄瑠璃文楽座 人形遣い
三世 桐竹勘十郎

今回は舞台下駄についてお話し致します。

これは、人形遣いが舞台上で人形を遣う時に履く、箱形の特殊な下駄です。イラストにも示しているように、太い鼻緒と下駄底の草鞋わらじが特徴的ですが、一番の特徴はその高さでしょう。私が所有する下駄は、現在8足で、それぞれ高さや鼻緒の硬さが違います。一番低いのは12センチ、高いのは38センチ程で、これを履くと私の身長も2メートルを超す。この舞台下駄は、三人遣いの中心となる主遣いおもが履くのですが、立役(男役)の大きい人形の場合、左遣いもある程度身長が必要ですので、舞台下駄で補って左を遣います。

女方、立役、各役柄に合わせ、また、大道具の組み方や演出により下駄の高さを決め、途中で高さの違う下駄に替えたりもします。この下駄の履き心地はそのまま人形に影響するのでとても重要です。毎日使用していると底のワラジが擦り減ります。ワラジは下駄と舞台面との緩衝材の役目をして、音を消す効果もありますので、痛むと直ぐに取り替えるのですが、これが中々難しい。

入門した最初の頃に私もこのワラジ替えを失敗を重ねながら覚えました。ワラジの着け方、止め方が緩いと、思い通りに足が運べず舞台での事故に繋がります。下駄は足の指先から鼻緒を伝って下のワラジの先

に力を運ぶのです。寸法が高くなればなる程伝わり方は微妙になりますので、ピシッと止まっていなければ舞台では使えません。時には急に取り替える事もあるので、公演中の短い空き時間に手際よく替えられるよう、ワラの緬ない方も普段から練習をしました。

昔各地を巡業していた時に、舞台下駄と同じような形の下駄を二種類見掛けた事があります。一つは鉄製の枠組に鼻緒がついた物で履いてそのまま海に入り、海上から覗きながら海中の物を獲るのに使い、もう一つは木製の箱形で、樹木の上の作物を収穫する時に使う下駄でした。昔の人が考え工夫した、毎日の生活に欠かせないこれらの特殊な下駄にも、それぞれに歴史や物語がある事でしょう。華やかな舞台上で人形を遣う私達の足下を、見えない所で支えてくれている舞台下駄は、人形遣いにとって欠かせない大切な道具です。



三世 桐竹勘十郎 略歴

きりたけ・かんじゅうろう 昭和28年3月、大阪生まれ。42年、三世吉田簀助に師事、吉田簀太郎を名乗る。平成15年4月、父の名跡を継いで三世桐竹勘十郎を襲名。芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章、日本芸術院賞など。重要無形文化財保持者(人間国宝)。

市民の声



コロナ禍での開催、大変だったと思います。本当にありがとうございました。
(8月7日「DANCE FESTIVAL vol.6」来場、40代)

小林みゆ



浅野聡太



Hikaru



和楽器の新たな魅力を追求する「天楽」は、浅野聡太、小林みゆ、Hikaruによるユニット。和太鼓の圧倒的な迫力と、篠笛の心にしみる音色…3人の個性がぶつかり合う圧巻のパフォーマンスは、各地で観客を魅了しています。そんな3人が12月17日(土)、コスモシアターにやってきます。ステージと客席が一体となった和楽器ライブを体感しませんか。今回は久米田高校太鼓部とのコラボも。和太鼓奏者として国内外で活躍するリーダーの浅野さんに、公演への意気込みなどを聞きました。

——「天楽」結成の経緯を教えてください

和太鼓奏者としてプロ活動を始めるにあたり、若い勢いと力で、今までと違った新しい和楽器の魅力を打ち出したい、和楽器のイメージを変えたいという思いがありました。お互いの師匠とのつながりや、それぞれの活動を通じて小林みゆさん、Hikaruさんと知り合い、ユニットを結成しました。

——これまでの活動は

ありがたいことに、国内だけでなく海外でもたくさん演奏する機会をいただいています。私たちの音楽は、歌のないインストゥルメンタルという分野です。その国の言葉は分からなくても、音で自分たちが表現したいものを届けることができると思っています。海外でそういう経験ができるのは、とても素晴らしいことだと感じています。

——和楽器の魅力は

和太鼓でいえば、元々は時報や合戦の場で使われていました。そのために、他の追従を許さない迫力のある音が出ます。一方で、伝統楽器の中でも扱いやすいのが魅力ではないでしょうか。

心を揺さぶる和楽器ライブ

和楽器ユニット「天楽」てんかく

伝統楽器は世界中で後継者不足という問題を抱えていますが、和太鼓はそんな現状を打破してくれる圧倒的な音色を持っていると思います。

——過去にも公演やワークショップで貝塚を訪れていますね

貝塚は文化がしっかり根づいている街、という印象です。だんじりや書道、日本画などの伝統文化体験フェスタに参加させてもらったときに、お客さんだけでなく、文化を伝えようとするアーティストが非常に多かったのが印象的でした。地域の文化がきちんとあり、その文化をきちんと継承していこうという流れを感じました。(メンバーで篠笛奏者のHikaruさんは貝塚出身)

——公演への意気込みをお願いします

今回の公演では、ゲストとして久米田高校の太鼓部のみなさんが参加してくれます。私たちが観客に届けたい音楽はもちろんありますが、地元の若い力とともに音楽を届けることが、最大の魅力になるのではないのでしょうか。特に今回は、太鼓部の生徒たちががんばっている姿を、同年代の子供たちにも見てもらいたい。そうすることで、さらに大きなパワーが生まれると思います。そのパワーを借りて、私たちもステージで最高のパフォーマンスをしたいと思っています。

和楽器ユニット「天楽」

2017年結成。3人のメンバーそれぞれが個人奏者として有名アーティストとの共演や海外での演奏活動をするなかで得た様々な経験を持ち寄り、既存の和楽器ユニットにはない魅力を追求している。演奏のみならず、和楽器体験やワークショップを通して、若い世代に和楽器の魅力を伝えることにより、日本文化の可能性を広げている。その最終目標は和楽器を通じて社会貢献を行っていくことである。



10月22日(土)

中ホール

花形演芸フェスティバル in 貝塚

開演 14:00

指定席 一般 2,500円 / 会員 2,300円

発売日 発売中

※当日500円増 未就学児入場不可



11月12日(土)

大ホール

春風亭一之輔独演会

開演 13:30

指定席 一般 3,500円 / 会員 3,300円

U18 1,800円

発売日 発売中

※当日500円増 未就学児入場不可



©KITCHEN MINORU

11月23日(水・祝)

大ホール

ミュージカル「クリスマス・キャロル」 ～あなたと旅する奇跡の12時間～

開演 14:00

指定席 一般 S席 5,500円 / A席 3,500円

会員 S席 5,000円 / A席 3,000円

発売日 発売中

※当日500円増 4歳未満入場不可



子ども料金(U18・500円)はコスモシアター
チケットカウンターでのみ取扱い
(A席のみ、エリア限定)



12月17日(土)

中ホール

和楽器ユニット

天楽コンサート 静と動

開演 14:00

指定席 一般 2,500円 / 会員 2,000円

U18 500円

発売日 一般 10月22日(土) / 会員 10月15日(土)

※当日500円増

4歳未満入場不可



1月28日(土)

コスモス吹奏楽カーニバル2023

【1部】 泉州地域の中学・高校ブラスバンドによる
演奏会

場 所 中ホール

開 演 9:45

自由席 無料

【2部】 BLACK BOTTOM BRASS BAND
LIVE in 貝塚

場 所 大ホール

開 演 14:30

指定席 一般 2,000円 / 会 員 1,800円

U 18 500円

発売日 一般 10月22日(土) / 会 員 10月15日(土)

※当日同額 4歳未満は大人1名につき1名膝上鑑賞可



今回、「コスモス吹奏楽カーニバル」に初参加させていただきます、ブラック ボトム ブラス バンドです。吹奏楽は、なんといっても大合奏とアンサンブル。僕たちのニューオリンズブラスは、リズムと華やかな楽しさ。この2つの融合で、どんな音楽の世界が繰り広げられるのか、とっても楽しみです。そして、新春らしい晴れやかさにカーニバルの賑わい!! お仲間やお友達、ご家族でワイワイとぜひ遊びにいらして下さいね。

大阪府輝け!子どもパフォーマー事業



コスモシアター 秋の文化イベント



11月3日(木・祝)

中ホール

文化の日のつどい

開 場 12:30 開 演 13:00

参 加 無料(申し込み不要)

※手話通訳、要約筆記あり

主 催 貝塚市・貝塚市教育委員会

内 容 1. 式典・表彰

2. 記念講演

「がんばらない生き方～あなたの人生
を変えるほどほどのススめ～」池田清彦(生物学者 早稲田大学名誉
教授・山梨大学名誉教授)フジテレビ「ホンマでっか!?TV」に出
演するなど多方面で活躍している。

問い合わせ 貝塚市教育委員会 社会教育課

電 話 433-7125 FAX 433-7053

メー ル shakaikyoiku@city.kaizuka.lg.jp

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベン
トを変更・中止する可能性があります。ご了承ください。

11月5日(土)～6日(日)

貝塚市市民文化祭

主 催 貝塚市市民文化祭運営委員会

貝塚市教育委員会

共 催 一般財団法人貝塚市文化振興事業団

企 画 作品展示

【5日】9:00～18:00 【6日】9:00～16:00

市民茶会(いす席・無料)

【6日】10:00～お菓子がなくなり次第終了

ミニSLがやってくる! (無料)

【5日】10:30～12:00/13:00～15:00
(雨天時は6日に順延)

つげさんと記念撮影・フォトフレーム作り

【6日】10:00～12:00/13:00～14:00

(先着200名 無料)

和菓子作り体験

(事前申し込み制・定員になり次第締切)

【6日】10:00～/11:00～/12:00～

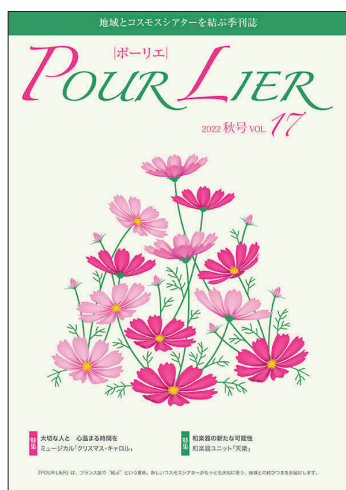
(各回20名 参加費200円)

講師 前田崇之氏(宝泉菓子舗)

こちらから申し込みできます。>>>



託児サービスあり(2週間前までに要予約)



ポリーエに 込めた思い

「ポリーエ」(Pour Lier)はフランス語で「結ぶ」という意味。コスモシアターの活動が人と人の「結びつき」を生み、その広がりがグループとなり、そして繋がり、というように有機的に動いていくその先にこそ心震わせる感動があると思っています。

VOL.17 10月4日 発行

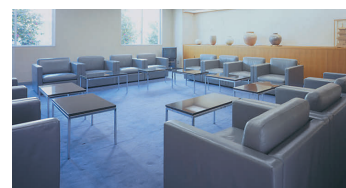
発行元：貝塚市民文化会館
コスモシアター
企画編集：産経編集センター
取材執筆：荒井薫
デザイン：石水浩一
藤原隆兵

貸館利用のご案内

コスモシアターでは本格的な舞台公演が可能な大ホール（約1200席）、クラシック公演や表彰式、演劇などに適した中ホール（約500席）、リハーサルやパーティーなどにも活用できる鏡張りの小ホール（仮設で約100席）、2部屋の会議室を貸し出ししています。全ての施設が12カ月前から（市内在住の方は13カ月前）利用申し込みが可能です。専門スタッフがご案内致しますので、初めての方もぜひお気軽にご相談ください。



中ホール



会議室 1

AirPAYを導入しています



※「PiTaPa」はご利用いただけません。

コスモシアターチケットカウンター窓口にてチケットご購入時に、現金でのお支払いの他、上記ブランドでのお支払いも可能です。ぜひご利用ください。

※現金との併用はできません
※チケットのご購入時に限ります
※会員様対象のポイントは、現金支払い時のみの付与とさせていただきます

市民の声

市民の声



市民の皆さまからコスモシアターに寄せられた意見や提言、感想、要望などを紹介するコーナーです。

ホームページ

<https://www.cosmostheater.or.jp>

チケットカウンター **072-423-2442**

受付時間 窓口・電話とも 9:00 ~ 17:00

休館日 毎週水曜、第2木曜（祝日の場合は翌平日）

※主催公演以外は、チケットの取り扱いを行っていない場合もございます。

オンライン
チケット



コスモシアター公式ホームページから「チケット購入方法」「オンラインチケットサービス」をご覧ください。

予約時にお近くのファミリーマート、またはセブンイレブンでのお支払いや受け取りが選択できます。

ホームページで
公演情報をチェック！



貝塚市民文化会館

コスモシアター

